

## 生活協同組合 コープさっぽろ 藤野店 (札幌市)

既存設備に省エネの“仕掛け”で店舗運営コストを削減

### 取組の概要

- ・スーパーの店舗における電力使用量の削減による環境負荷軽減と店舗競争力の強化が課題。
- ・閉店後も電源を入れたままの冷蔵ショーケースを、手動やタイマー制御ではなく、営業時間の変更に対応した電源のオン・オフ、季節や時間帯による来客数の変動に応じた換気装置の電源のオン・オフの検討を開始。
- ・既存の冷蔵ショーケースや換気設備をそのままに、ひと工夫を施し電力使用量の削減を計画。
- ・平成22年度エネルギー使用合理化事業者支援補助金（経済産業省）を活用。

#### ■冷蔵ショーケースの省エネルギー制御システムの導入

店舗営業本部からの営業時間（開店・閉店）通知の放送信号と連動し、店内冷蔵ショーケースの電源を自動制御（既存の冷蔵ショーケースと放送装置をそのまま活用）。

#### ■CO2センサーによる店内外気導入量制御システムの導入

店内のCO2濃度をセンサーにより検知し、店内の換気ファンの作動を自動調節。入客数の変動に応じて外気導入量を最適制御（既存の換気設備をそのまま活用）。

#### ■高効率照明設備の導入

直管型LED照明を店舗バックヤード部分に導入。



▲CO2センサーと連動する換気設備



▲省エネルギー制御する冷ケース



▲店舗バックヤードLED照明

### 節電・省エネ効果

【事業費総額 約 770 万円】

	エネルギー使用量 (原油換算kl)	電力使用量 (kWh)
取組前	808	3,141
取組後	693	2,694
削減率	14.2%	14.2%

※平成20年度と平成23年の比較

### ここもポイント

- ・同様の仕掛けと照明の更新を複数店舗に導入（藤野店を含めて6店舗で補助事業に採択）。
- ・店舗設計から使用するエネルギー、冷蔵ケースにいたるまで、さまざまな工夫とアイデアを導入した新しいコンセプトの店舗「ECO・OP（イイコープ）」も拡大中。



▲Eco-opの第1号店「西宮の沢店」

### 企業概要

#### 生活協同組合コープさっぽろ

- 所在地：札幌市西区発寒11条5丁目10番1号
- 代表者：理事長 大見 英明
- 業種：小売業（店舗事業、宅配事業、共済事業 他）
- 問い合わせ先：開発本部
- 電話番号：011-671-5612
- URL：http://www.coop-sapporo.or.jp/



▲コープさっぽろ  
藤野店